

# ABE 論文投稿補助制度 【2016 年度版】 Ver.1.9

2016/03/22

文責：編集委員 幹事 永岡 隆(近畿大学)

## 1. 本制度について

- 本制度の名称は ABE 論文投稿補助制度（英語名称：Submission assistance for ABE, 略称 SAABE）とする
- 本制度は優秀な研究の ABE への投稿を促すことで、インパクトファクターの獲得に寄与するとともに、英語論文作成が技術的／環境的に困難な研究者の論文投稿・学位取得に向けた補助を目的とする
- 本制度は生体医工学シンポジウム 2016 にのみ適用され、その結果をもとに次年度以降の制度実施の有無、制度改正等が検討される

## 2. 本制度の対象

- 生体医工学シンポジウム 2016 で発表される研究のうち、本制度に応募したものを候補とする
  - ABE へ投稿予定の原稿が既にある研究は本制度の対象とはならない
  - 既に何らかの媒体に掲載が決まっている論文は本制度の対象とはならない
  - 生体医工学・シンポジウム論文へ投稿予定の論文が本制度に採択された場合、英文化を目指すこと、並びに論文指導の時間的余裕を確保するため、当該論文の生体医工学・シンポジウム論文への投稿は取り下げなければならない
  - シンポジウムへの講演申込みにあわせ、申請書を指定されたメールアドレスに送付することで応募とみなされ、申請書をもとに、対象が選定される
  - シンポジウムの採択の判断とは独立して、明らかに ABE の投稿規定に反する論文（倫理宣言の不備、二重投稿等）と判断された場合、選定の対象外とする
  - 応募された研究のうちベストプレゼンテーションアワードを受賞した研究は、優先的に補助の対象として選定される
  - 選定結果はシンポジウム終了後、速やかに応募者へ通知される
- 論文の筆頭著者ならびに責任著者は、本制度に応募する段階で生体医工学会会員であるか、入会申し込み中でなければならない
- 採択後、本制度への対象外であることが判明した場合、採択の取り消し・助成金の返還・以後本学会の各種制度への申請停止等のペナルティが課せられる

## 3. 本制度による補助について

- 5～10 論文程度を対象とする
- 補助対象のうち、最大で 50%程度を特定の分野に優先的に配分する
  - 優先される分野は臨床工学・看護工学などのパラメディカル領域とする
  - 必要に応じ、優先される分野は追加・変更可能とする
- 論文の投稿補助に必要な経費(10 万円)の半分を学会として補助する
- 残る経費は応募者が責任を持って選定後に指定された方法に従い支払う

- 支払われた経費は投稿補助の開始以降、返還されない
- 本制度における投稿補助は、以下の手順で実施される
  - 本制度に採択された研究者は、シンポジウムで発表した予稿等をもとに、日本語もしくは英語で論文を執筆する
  - 編集委員会から指定された委員が論文内容について指導する
  - 著者は指導に沿って論文を改訂し、かつ可能な範囲で英文化する
  - 英文校正者と委員が協力し、英語論文の校正を実施する
  - 著者は英文校正結果を確認し、ABE へ投稿する

#### 4. 本制度によって英文化された論文の扱いについて

- 本制度によって英文化された論文は、最初に ABE へ投稿することが義務付けられる
- 本制度によって英文化されたことを論文の **acknowledgement** 等で明示する
  - 本制度の対象であることを明示することで、英文校正証明書の添付は不要とする
- 英文校正証明書以外の手続きは通常通り ABE の電子投稿システムを用い、応募者自身によって投稿する
- 本制度によって英文化された論文も通常通りの方法で査読が実施され、ABE への掲載が保証されるものではない
- シンポジウム論文とは異なり、掲載時期、査読判定時期を指定することはできない
- 査読によって修正が指示された場合においても、修正稿の英文化に関する費用は補助されない
- 査読によって **reject** と判断された場合、ABE への修正再投稿が強く推奨されるが、その費用は補助されず、また同論文の他誌への投稿は妨げないものとする

ABE 論文投稿補助制度【2016 年度版】申請書 Ver.1.4

申請日：2016年 月 日

全ての項目を記入し、生体医工学シンポジウム 2016 の原稿とあわせて送付してください。送付・問い合わせ先は [nagaoka@waka.kindai.ac.jp](mailto:nagaoka@waka.kindai.ac.jp) です。改行位置等は文量によって変更していただいて構いませんが、申請書は1 ページ以内に収めてください。赤字の部分は消していただいて構いません。

生体医工学シンポジウム 2016 に申し込んだ演題名：

筆頭著者名・所属・役職：

メールアドレス：

住所：

責任著者名・所属・役職：(筆頭著者と同じ場合は削除して構いません)

メールアドレス：

応募理由(和文可)：

本論文の構成について

有効性：研究内容が学術や産業の発展に何らかの意味で”役立つ”ものであることを説明してください。

新規性：先行研究等との相違点を可能な限り具体的に説明してください。

信頼性：研究内容が読者から見て信頼のおける方法で評価・証明されていることを説明してください。

申請者はこの研究が以下の項目の通りであることを宣誓します。

下記項目の□を■にすることで宣誓とします。採択後、適格性に問題があったことが明らかになった場合、採択が取り消される場合があります。

- この論文は本制度を利用しない場合、ABE に投稿する予定はありません。
- この論文は応募時点で生体医工学・ABE 含め、他誌への掲載が決定していません。
- この論文の筆頭著者と責任著者は応募時点で生体医工学会員か入会申し込み中です。
- この論文が本制度に採択された場合、英文校正費用の残額を支払うことができます。
- この論文が本制度によって英文化された場合、最初に必ず ABE に投稿します。